

授業概要

今日、世界的な環境意識の高まりにともない、多くの製品やサービスが環境配慮を意識したものに変わってきています。企業経営では、事業活動と地球環境の相関を的確に理解し、ビジネスに役に立てていく「環境経営」の人材が求められています。そのため、本授業では、持続可能な社会の実現に向けて、地球環境問題の構造と企業の社会的責任、環境経営の視点と実践に関する基本知識を体系的に学べるように講義します。

授業計画

第 1 回	持続可能な社会とは
第 2 回	地球環境問題の構造
第 3 回	人口・経済・食料・資源（鉱物）について
第 4 回	企業活動による環境への影響と企業の社会的責任
第 5 回	環境経営の視点と環境マネジメントシステム
第 6 回	環境経営の実践と環境コミュニケーション
第 7 回	環境経営ケーススタディ（1）：地球温暖化対策
第 8 回	環境経営ケーススタディ（2）：省エネルギー対策
第 9 回	環境経営ケーススタディ（3）：水資源の有効利用
第 10 回	環境経営ケーススタディ（4）：産業廃棄物と循環利用
第 11 回	環境経営ケーススタディ（5）：公害対策
第 12 回	環境経営ケーススタディ（6）：生物多様性
第 13 回	環境経営と国連 SDGs
第 14 回	環境経営と ESG 投資
第 15 回	まとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

- (1) 地球環境問題の構造と企業の社会的責任に関する基本知識を理解すること
- (2) ケーススタディを通じて、環境経営の視点と実践に関する基本知識を理解すること
- (3) 環境経営と財務管理・金融市場に関する基本知識と動向を理解すること

履修上の注意

- (1) 授業は、おおむねシラバスに沿って進めますが、受講者の理解度などによって、授業内容が前後・変更することがあります。
- (2) 授業中の私語や無断出入り、遅刻、飲食、携帯電話の使用などの迷惑行為は厳禁です。

予習・復習

- (1) 予習：授業計画に沿って、インターネットや新聞など活用して適宜に予習しましょう。
- (2) 復習：授業が終わったあと、配布したレジュメと演習問題のプリントを活用して理解を深めましょう。

評価方法

定期試験 40% フィードバックシート（数回） 30% 授業態度など 30%

テキスト

テキストは使用しません。毎回、授業内容のレジュメおよび演習問題のプリントを配布しますので、欠席をしないようにお願いします。